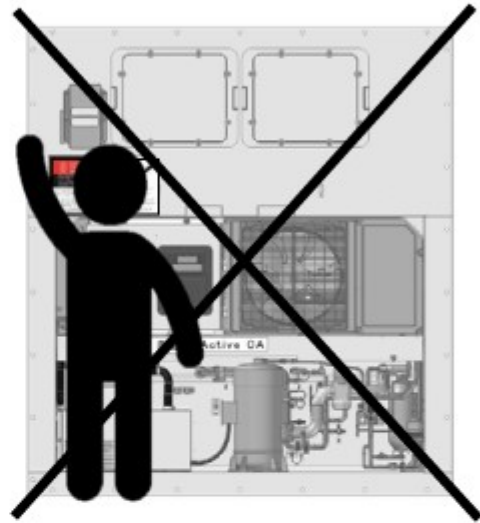
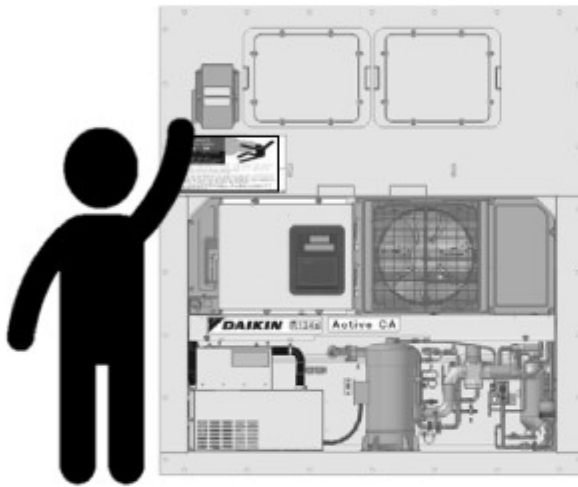


危険 安全上の注意

コンテナ立ち入り前の換気手順 (電源供給停止で操作パネル確認できない時)

1. サーキットブレーカをOFFにしてください。
電源が復旧した際にCA装置が運転することを防止するためです。
2. 換気口を100%(全開)にしてください。
ただし、換気口から排出される人体に危険な気体を直接吸い込まないように側面に立って作業してください。



3. コンテナ後部ドアを全開にします。輸送時に荷物が当たり、カーテンが破れているおそれがあるのでドアを全開後はすみやかにドアから離れてください。
4. コンテナカーテンを工具を使って破ります。その際、コンテナBOX内空気を直接吸い込まないように作業後すみやかにコンテナから離れてください。
5. コンテナ後部ドアを全開にしたまま60分経過後、コンテナBOX入口に近づきながら空気組成濃度を濃度計で確認してください。酸素濃度(21%)、二酸化炭素濃度が1000ppm以下(0.1%以下)になるまで待機してください。
監督者は空気組成濃度確認後、作業者の立ち入り許可を出してください。
所定の時間が過ぎても、大気状態では無い場合は、待機時間を延長してください。
6. 監督者はコンテナ後部ドアから十分距離を取った場所で、立ち入りを監督してください。

注) コンテナ内で人が倒れている場合、救助のためコンテナへ立ち入りが可能なのは安全手順について訓練を受けたレスキュー担当者に限ります。
(2次災害防止)